

授業概要

生活科創設の趣旨を理解し、目標・内容や授業の実践事例、指導案作成、模擬授業等を通して、生活科学習の要諦を講義する。

内容（１）～（９）を理解し、単元構成や年間指導計画、単元づくりについて教科書等を素材に具体的な事例を取り上げ講義する。また、学習指導要領や授業の映像の分析等を通して、気づきの質を高める手立てや表現活動、指導者のかかわりを具体的に講義する。

授業計画

第 1 回	生活科の創設（幼児教育と生活科 低学年社会科・理科 学習指導要領における推移）
第 2 回	生活科の目標 学年目標 生活科授業の実際（授業イメージの形成）
第 3 回	内容構成の具体的な視点 内容（１）～（９）の階層
第 4 回	内容（１）（２）（３） ・内容の取扱い 教材研究
第 5 回	内容（４）（５）（６）（７）（８） ・内容の取扱い 教材研究
第 6 回	内容（９） ・内容の取扱い 教材研究
第 7 回	生活科の授業分析 ・指導者のかかわり ・環境設営 ・情報機器の活用
第 8 回	生活科マップ 地域性を生かした単元構成と年間指導計画
第 9 回	指導案作成① ・思いや願いを追究する学習過程 他教科との関連単元の構想
第 10 回	指導案作成② ・対象とかかわる学習活動 体験と表現活動 気づきの質
第 11 回	指導案作成③ ・連続する学び ・評価 ・情報機器の活用を含む
第 12 回	模擬授業 情報機器の活用・授業評価
第 13 回	幼稚園・保育園との連携・交流の意義と実際
第 14 回	スタートカリキュラムの意義と実際
第 15 回	生活科を核とした低学年のカリキュラム・マネジメント
第 16 回	定期試験

到達目標

生活科の趣旨を踏まえた指導計画や指導案、評価計画等を作成することができる。

体験的な学習活動を吟味し、思考活動や表現活動の場面における指導者の多様な関わりを通して気づきの質を高める工夫をすることができる。

履修上の注意

本講義を受講する場合には、幼児教育とも関連する内容を取り上げる「生活」を履修することが望ましい。

予習・復習

- ・予習：資料やテキストは授業までに読み、内容や疑問を明らかにしておくこと
- ・復習：提示された課題について、工夫してまとめ学んだことの定着にむけ取り組む

評価方法

授業ごとの振り返り記録・参加度(30%) 作品づくり・課題レポート(30%) 学期末テスト(40%)

テキスト

文部科学省『小学校学習指導要領解説 生活編』東洋館 最新版
参考資料は必要に応じて、配布したり紹介したりする